

2022年4月26日
日本工営株式会社

令和4年度 臨海副都心における自動運転技術を活用したサービスの構築に関するプロジェクトを公募

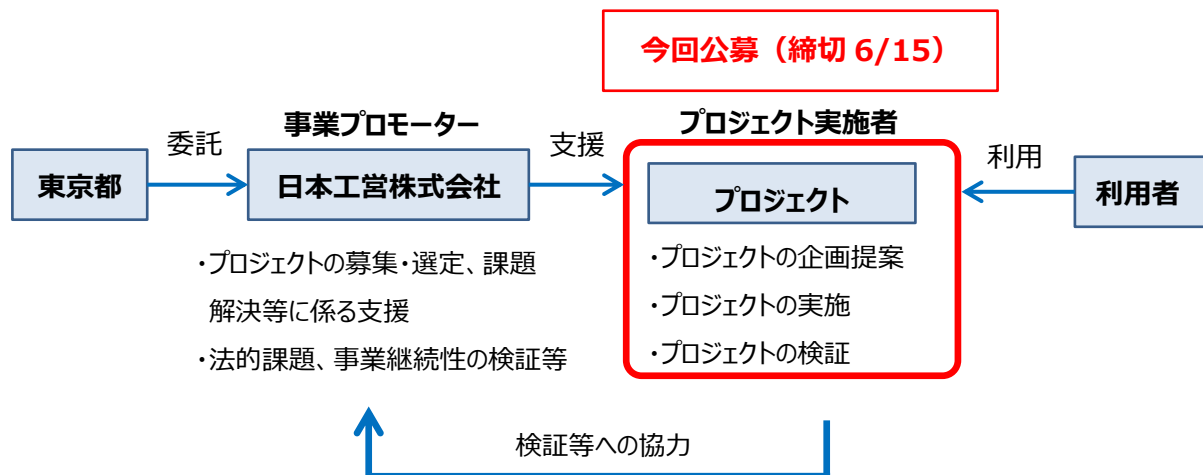
日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：新屋浩明 以下「日本工営」）は、東京都より「令和4年度臨海副都心における自動運転技術を活用したサービス構築に関する業務委託」を受託しました。臨海副都心エリアを対象に、2022年度中に実施する自動運転技術を活用したサービスの実証による事業化の検討および自動運転技術実装の促進に取り組みに関する事業プロモーターを務めます。

プロジェクトの対象となる臨海副都心は、魅力ある拠点が各地区に形成されており、まちの魅力をさらに高め、賑わいを創出するためにも、回遊性向上が求められています。また、ベイエリアは、デジタルの力で東京のポテンシャルを引き出し、都民が質の高い生活を送ることができる「スマート東京」の先行実施エリアとしてベイエリア Digital Innovation Cityの実現を目指しており、まちへのデジタルテクノロジーの実装や、青海地区をはじめとする臨海副都心エリアにおいて、先端技術開発を担うスタートアップ等の誘致・集積を図っています。

本事業では、回遊性の向上やスタートアップの集積につながる移動サービスなど、まちの魅力向上に資する自動運転技術を活用したサービスの実証を行い、事業化の可能性を探り、臨海副都心における自動運転技術の実装を目指します。

1. 概要

事業プロモーター（日本工営）が、自動運転技術と様々なコンテンツを組み合わせたプロジェクトを募集し、優れた取組を2件程度選定して、プロジェクトの実施に係る支援を行うとともに、実証を通じて得られた結果をもとに法的課題や採算性等を検証します。



2. 支援内容

事業プロモーター（日本工営）は、プロジェクト実施者に対して、実施にかかる費用負担やアドバイス等の実施サポート、プロジェクトの運営支援を行います。

3. 募集対象

臨海副都心エリアにおいて、回遊性の向上や、スタートアップの集積につながる移動サービスなど、まちの魅力向上に資する自動運転技術を活用したサービスの実証を行う取組みを募集します。

プロジェクトは、技術実証だけを目的とせず、様々なコンテンツやエリア内の事業者と連動して、賑わいを創出することをテーマ・目的に含むこととします。サービスの実証に伴い、事業化の可能性を検証し、臨海副都心における自動運転技術の実装を促すことができるものとします。

4. 応募要件等

公募の詳細、提案書様式、その他の詳細は下記特設サイトをご参照ください。

URL : <https://autonomouscar-tokyo.jp/>

5. 今後のスケジュール（予定）

- (1) 公募期間：2022年4月26日（火）～6月15日（水）
- (2) プロジェクトの選定：2022年7月中旬～下旬を予定
- (3) プロジェクトの実施：選定後、2023年2月末までを目途に実施

<本公募に関するお問い合わせ先>

日本工営株式会社

E-mail : ml-rinkaifukutoshin@dx.n-koei.co.jp

<本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先>

日本工営株式会社 コーポレートコミュニケーション室

TEL :03-5276-2454 Email : c-com@n-koei.co.jp

ホームページ : <https://www.n-koei.co.jp/>